

猫が庭などに入らないようにする方法

～猫による被害の軽減に効果がある方法を紹介します～

猫が庭、花壇、畑等をふん尿で汚すのは、周辺のどの場所よりも猫にとって快適な場所だからです。

猫にとって快適な場所は、次のような場所です。

- (1) 人の出入りが少なく、番犬もいない静かで安心できる場所
- (2) 気持ちよく排便できるやわらかい土、砂、芝生等がある場所
- (3) エサを探し回らなくても、近くで簡単にもらえる場所

どうしても我慢できない場合は、猫を寄せない次の方法をお試ください。

猫との根比べです。いろいろな方法で何度も繰り返してやってみてください。
数か月やり続けることで猫が嫌な場所と学習します。

忌避剤

- 猫が嫌がるにおいや刺激性によって猫が近づきにくくする方法です。風上や通り道に置くなど場所を工夫しましょう。
- 雨や風の影響で効果は徐々に薄れます。効果を維持するために定期的に交換しましょう。
- 猫がにおいに慣れると効かなくなります。ときどき種類を変えましょう。
- においが強いものや色がついてしまうものがあります。試す場合はあらかじめ近所の人にも説明しておきましょう。
- 使用方法や置き場所によって、幼児が誤って口に入れたり、人体に影響がある場合があるので注意しましょう。

対 策	方 法
食用酢	容器に入れるか、スポンジや布にしみ込ませて置く。2～8 倍程度に水で希釈して散布する。手軽で即効性があるが、持続期間が短く、植物に有害である。
木酢液	容器に入れるか、スポンジや布にしみ込ませて置く。2～8 倍程度に水で希釈して散布する。
漂白剤	塩素系漂白剤を濃いめに希釈して散布する。容器に入れるか、スポンジや布にしみ込ませて置く。腐食するので金属部には使用できない。
におい系のミックス	木酢液、レモンバームの葉、唐辛子をミックスし、1～2 日寝かせて、4～10 倍程度に水で希釈して散布する。

ハッカ油	ハッカ油を薄めてスポンジや布にしみ込ませて置く。
コーヒーかす	コーヒーかすをふん尿をされる場所に撒くか、風上に吊るす。
どくだみ茶等の茶殻	どくだみ茶の茶殻をふん尿をされる場所に撒くか、風上に吊るす。
生にんにく	生にんにくを細かく刻んで、目の細かい網の袋に入れて風上に吊るす。
唐辛子	唐辛子を細かく刻んで、目の細かい網の袋に入れて風上に吊るす。粉末状のものを撒く。
米のとぎ汁	米のとぎ始めの濃い汁をふん尿をされる場所に毎日撒く。
みかん等の柑橘類の皮	みかん等の柑橘類の皮を撒くか、目の細かい袋に入れて風上に吊るす。柑橘類等の香りのする薬品を置く。
こしょう、カレー粉等の香辛料	こしょう、カレー粉等の香辛料をふん尿をされる場所や通り道に撒く。
たばこの吸殻水	たばこの吸殻を水に浸し、それを散布する。
ナフタリン・樟脳	ナフタリン・樟脳を目の細かい網の袋に入れて風上に吊るすか、土の中に混ぜ込む。
重曹	粉のまま撒いたり、土の中に混ぜ込んだりすることで消臭効果が期待でき、マーキングのにおいを消せる。重曹自体に忌避効果はないため、他の方法と組み合わせる必要がある。
EM菌・生ごみ処理肥料	EM菌（微生物分解促進剤）を撒く。ガーデニングや畑の肥料にもなる。
トゲのある植物を植える	バラ、サボテン、ヒイラギ、カラタチ等を植える。花壇等の表土にヒイラギの葉をすき込むと効果がある。
地面を覆う植物	タイム、ブルーフェスク、リボングラス、アイビー等を植える。10～30cmの高さ（猫の目の高さぐらい）に茂っていると、茂みを嫌がるため入らない。
香りの強いハーブ類	猫が嫌がる香りのするハーブ類（ゼラニウム、レモングラス、ローズマリー、ペパーミント、ルー等）を植える。鉢植え又はハーブの香料を通り道に置く。
市販の忌避剤	ペットショップ、スーパー等で販売している忌避剤を使用する。雨天や長期間での効果は期待できないが、短期間で効果がある。

構造物

- 猫が嫌がるものを置いて歩きにくい状態にしたり、侵入できないようにしたりする方法です。
- やわらかい土の地面は猫のトイレの場所になりやすいので、タイルを敷きつめたり、コンクリートで覆ったりする方法もありますが、効かない猫もいます。
- 水をいれたペットボトルを設置する方法は、火災の原因となるおそれがあります。

対 策	方 法
バークチップ(園芸装飾用木片)	大き目の園芸装飾用木片を撒いて、猫の歩行を困難にし、環境の変化で不安をあおる。
砂利・尖った小石	砂利の上を歩くと音がする。尖った小石を撒くと肉球が刺激されて不快になる。
大きな石	物理的に歩けなくなる位置に石を置く。
水	ホース等で水をたっぷり撒いて、土を十分に湿らせる。水を嫌って濡れた場所やぬかるみを敬遠する。
枯れ枝	球根や種が植えてあるところに枯れ枝を一面に敷き詰めると掘り返されない。
松ぼっくり	猫が通る通路等に敷き詰める。
割り箸	通路や花壇など猫の通り道に挿しておくことで侵入を防ぐ。
卵の殻	卵の殻を荒く砕いてばら撒くと、肉球が刺激されて不快になる。
とげ状シート	通路や塀の上など飛び上がる場所の足元に敷くと肉球が刺激されて不快になる。全面に敷きつめなくても、飛び越えられない幅に敷けばよい。動かされないように固定する必要がある。
粘着テープ	ガムテープや両面テープの粘着面を上にして設置する。粘着力が落ちたら交換する。足裏がべとつくのを嫌う。
釣り糸・テグス	猫の足がひっかかる高さになるよう進入口や通路に張る。釣り糸は猫の目に見えないため、何かが触れるのを嫌がる。
園芸用の灰	園芸用の灰を撒いておく。体を舐める習性から足の裏が汚れるのを嫌う。
網戸用の網・フェンス用の網	ふんをされる場所に敷き、四隅を石等で押さえる。敷くと爪がひっかかり歩きにくい。

機器・装置

猫がやってきたときに追い払う対応です。

対 策	方 法
水鉄砲	水に濡れることを嫌うので追い払うことができる。ただし、人がやっていることがわかってしまうと、不在時に侵入するようになるので、猫に見破られないよう隠れて行う必要がある。
ブザー	遠隔操作式やセンサー感知式のものがあり、猫が通るときにブザーが鳴ると警戒して近寄らなくなる。
超音波	赤外線センサーにより猫が通過すると自動感知し、猫が嫌う特殊超音波を発生させる。

注意事項

- 1 以上の方法は、猫によって効果や持続性について個体差があるため、必ず効果があると保証するものではありません。
- 2 猫の侵入経路、通路、ふん尿をされる場所等を調べてから行うことで効果を上げることができます。
- 3 様々な方法を交互に試してみたり、組み合わせて行ったりするなど工夫してください。
- 4 嫌がることを継続することで、猫に学習するように仕向けることが必要です。1回で効果があるものではありません。反復継続することが大切です。
- 5 猫は愛護動物です。虐待にあたるようなことは絶対にしないでください。法律で罰せられます。
- 6 猫よけ対策は、ご自身の敷地内で行い、近隣とのトラブルがないように行ってください。

◎我慢できる場合は、次の方法をお試しく下さい。

対 策	方 法
猫のトイレを作る	畑を掘り返されたり、特定の場所にふん尿をされたりしたくない場合は、発泡スチロール、プランター、育苗箱等にやわらかい砂や土を入れたトイレを作ったり、ふんをされている場所の土をふんと一緒に丸ごと移し替え、決まった場所でさせるようにして定期的にふん尿の片づけをする。最初はマタタビを混ぜると効果的である。トイレの数が多い方が効果がある。